

質問事項

- ◆住宅リフォームに係る「補助制度の抜本的拡充」
- ◆スクールバスの休日等の「地域バス」運行
- ◆先の参議院議員選挙における投票率の低迷の原因
- ◆職員の労働環境の向上と処遇の向上のために

根本義郎

ねもと よしろう 議員

「住宅リフォーム」
助成制度の創設を新しい技術の
思い切った活用と
DXの推進を

質問事項

- ◆災害対策・安心安全なまちづくり
- ◆新しい技術の活用とDX
- ◆新型コロナウイルス感染症対策

加藤裕太

かとう ゆうた 議員

問 自動運転技術の活用を令和元年9月の一般質問で提案したが、今年の市長選挙で市長が自動運転バス導入を選挙公報に掲げ当選された。香取市での導入は。

答 市の循環バス路線での活用は、コスト面の優位性、給電設備の設置など具体的な導入には引き続き十分な調査研究が必要となります。導入に向けては、運行事業者との情報交換および協議等を行うなど、是非を含め計画的かつ具体的に検討していきたいと考えております。

問 DX戦略等デジタル化への方針を策定した自治体も多いが、検討状況は。

答 現在、市においては、住民記録等の自治体情報システムの標準化・共通化に着手したほか、マイナンバーカードの普及促進に鋭意取り組むとともに行政手続のオンライン化についても、利用可能な手続について順次拡大を図っています。今後、市としてのDX推進方針を策定し、その一層の推進を図ってまいりたいと考えています。

安心安全のための万全な
災害対策を

問 避難所での女性専用スペースの確保について令和元年12月定例会で要望したが、設置状況は。

答 女性専用スペースの確保については、職員向けの避難所開設マニュアルの中で女性専用スペースの設置を示しており、パーティション

周辺自治体で実施している補助
制度を踏まえ、省エネ等さらに
充実した補助制度を

問 市長は「住宅リフォーム助成」要望をどのようにお考えか。

答 今後、引き続き住宅の耐震化を進め、人口減少対策や子育て支援、移住定住施策の推進など、さまざまな政策課題に対し住宅リフォーム助成の有効性について研究してまいりたいと考えております。

問 先の参議院議員選挙の市の「投票率」は、県下の最下位から2番目。低迷した結果をどのようにに検証・分析し、今後の取り組みを問います。

答 7月10日に執行した参議院議員選挙の投票率は42.75%であり、前回と比べて1.79ポイント上回りましたが、県平均投票率50.01%と比較すると7.26ポイント下回る結果となりました。投票率向上の取り組みについては、引き続き広報かとりや市ホームページへの掲載および防災行政無線や広報車による呼びかけなどを実施していきます。

スクールバスの休日等の
地域利用はできないか

問 現在のスクールバス等の保有状況は、どうなっているか。

ンを併せて使用することで専用スペースを確保しています。

問 香取市防災情報Twitterの活用は平時時からの情報発信が肝要。今後の運用方針は。

答 防災情報ツイッターの運用方針として、平時時には防災啓発に関する情報を発信することとしており、さらなる充実を図るよう取り組んでまいりたいと考えております。

問 災害時に正確で十分な情報を迅速に伝えるためにはSNSとYouTube等の動画を組み合わせることが重要だと考えるが、検討状況は。

答 災害の規模・状況によっては有効な情報伝達手段となることも考えられるため、先進事例等を参考に調査研究してまいります。

新型コロナウイルス感染症
対策の徹底を

問 感染症対策を行った上で各種イベントが開催されている。今後開催予定のイベントは。

答 今後の主なイベントについては、10月29日から11月13日の間に香取市民文化祭、12月11日の香取小江戸マラソンなどの開催を予定しています。

香取小江戸マラソン
(令和元年12月8日開催)

答 令和4年9月現在の導入台数については、小学校が7校で28台、中学校が1校で3台、合計台数は31台となっています。

問 スクールバスの地域利用で、どのような制約があるのか。

答 無償による目的外利用で運行する場合、届出書を国に提出する必要があります。また、児童生徒の送迎以外に利用する場合については、運行委託業者との契約が必要となります。有償での運行の場合、スクールバスを利用する児童生徒の登下校に支障を来さないことなどの要件があります。

問 市職員の定数管理で、削減計画の見直しまたは一端凍結の考えはあるか。

答 業務量に応じた適正な職員数を配置し、行政サービスを提供していると認識しており、今後も支所を含め、デジタル技術の活用など他市の事例などを参考に研究を進め、行政サービスの維持向上を図ってまいりたいと考えております。

問 市長の職員に対する「人事政策」は、どのような内容をお考えを尋ねます。

答 市においては、さまざまな行政課題等の解決に迅速に取り組んでいくことが求められます。今後、組織の効率化を図る一方、職員一人一人が能力を向上させ発揮することができるよう、人材育成や働きやすい職場づくりに注力してまいります。